

説教のテーマ：「クリスチャンは幸いです。」

マタイの福音書 5章1-12節

¹ この群衆を見て、イエスは山に登り、おすわりになると、弟子たちがみもとに来了。² そこで、イエスは口を開き、彼らに教えて、言われた。³ 「心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人のものだからです。⁴ 悲しむ者は幸いです。その人は慰められるからです。⁵ 柔和な者は幸いです。その人は地を相続するからです。⁶ 義に飢え渇いている者は幸いです。その人は満ち足りるからです。⁷ あわれみ深い者は幸いです。その人はあわれみを受けるからです。⁸ 心のきよい者は幸いです。その人は神を見るからです。⁹ 平和をつくる者は幸いです。その人は神の子どもと呼ばれるからです。¹⁰ 義のために迫害されている者は幸いです。天の御国はその人のものだからです。¹¹ わたしのために、ののしられたり、迫害されたり、また、ありもしないことで悪口雑言を言われたりするとき、あなたがたは幸いです。¹² 喜びなさい。喜びおどきなさい。天においてあなたがたの報いは大きいものだから。あなたがたより前に来た預言者たちも、そのように迫害されました。

主イエスにあって愛する兄弟姉妹の皆さん、

今週の新聞記事に、日本が「ソフトパワーのスーパーパワー」であると書かれていました。ソフトパワーとは他の人を魅了する能力、また、権力やお金を使わずに他の人に及ぼす影響力を意味します。その記事は、日本は音楽やファッションや料理やビジネスの方法などを通して、他の国の人々を魅了し、また影響を及ぼすと説明していました。他国の人々の多くは、これらのものを日本から買いたいと思っています。その記事は、日本はそのソフトパワーをアジアやその他の国々で用いることにもっと努力すべきだと言っていました。これは日本の貿易赤字や、世界での日本の評判に役立つだろうと言っていました。しかし「ソフトパワー」は人生の最大の問題の解決法を生み出すことはできません。

イエス・キリストは違います。イエスには、私たちを罪と死と悪魔から自由にする力を持っています。復活の主として、イエスはこの世の終わりの日に私たちをよみがえらせる力を持っています。この顕現節の間、私たちはイエスが神の栄光に輝くことを覚えます。私たちはその栄光をイエスの奇跡と教えの中で見ます。今日、イエスは私たちにご自身の御国の栄光について教えます。イエスの御国に属する者たちは恵まれています（祝福されています）。私たちは神との関係において祝福されています。私たちは隣人との関係においても祝福されています。

パート1： 神との関係において幸いです。

先週聞いたように、洗礼者ヨハネがイエスを神の子を指し示めたのち、イエスは異邦人のガリラヤと呼ばれる地方で公の宣教を始めました。これは、イザヤ9章1-4節が預言した通りでした。おそらく、山上の垂訓（説教）の場所も、イエスの宣教の本拠地になったカペナウムという町に近い山でした。その山でイエスの説教を聞いた群衆は大勢いました。後で、その中の多くの人は、自分たちの願うこの世的な祝福をイエスから受けなかったことで、イエスを見捨てました。

イエスは山上の垂訓で、弟子たちの人生を説明しています。イエスのお陰で、彼らは神の民になっているのです。イエスのお陰で、彼らはこの世でも天国でも、神に属する者なのです。イエスのお陰で、クリスチャンは、この世でも恵まれています。また永遠の命を相続人なのです。イエスが言っているのは、クリスチャンは喜ぶことができるとか、喜ぶべきだとか、ということではありません。かえって、「あなたがたは心が貧しく、悲しむ者で、迫害を受けるが幸いな人だ」と宣言しています。なぜなら、クリスチャンは他の人が持つことのできない祝福を持っているからです。クリスチャンはその祝福をいつまでも持つからです。この世の人はクリスチャンを惨めな人、自由のない人、楽しみのない人と見なすかもしれません。クリスチャンを騙された人、間違っている人、危ない人と見なすかもしれません。しかし、御父（神）から来られた御子（イエス）は、弟子たちを幸いな者と呼んでいます。そして、山上の垂訓の序論で、その幸せの理由を説明しています。詳しく見てみましょう。

³ 心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人のものだからです。心の貧しい人とは、自分の罪を認める人を意味します。その人は神の御前に立つときに、何も誇ることのできないと分かっています。十の戒めを読むとき、神に「こんな罪人である私を憐れんでください」と叫びます。心の貧しい人の反対は、自分の状態やよい行いを誇る人です。その人は「神は私のことを喜ぶべきだ」と考えます。その人は、“良い行いという銀貨”を神に与え、神からの名誉を買おうと思っています。しかし、イエスの弟子たちは、自分が物乞いをする人であることを認めます。彼らは、手を伸ばして“神から恵みや赦しや赦免という銀貨”を受けたいと思っています。彼らは、神に次のように祈ります。「私には何の功績もありません。私はただイエスの十字架に希望を置きます。」

神はイザヤ預言者によって次のように言いました。「わたしが目を留める者は、へりくだって心砕かれ、わ

たしのことばにおののく者だ」(イザヤ書 66 章 2 節)。イエスが「心の貧しい人は幸いです」と言っているのは、天の御国がその人のものだからです。彼らはイエスにあって、恵み、罪の赦し、神の子どもとしての身分、永遠の希望などの、すべての霊的な祝福を持っています。彼らの王イエス・キリストは、いつも彼らの近くにいます。彼らは今すでに神の恵みを持っています。彼らはあとで、神の栄光を与えられます。

4 悲しむ者は幸いです。その人は慰められるからです。この世にいる間、クリスチャンは悲しみます。この世の悪、世の中の罪を見回すとき、悲しむのです。罪と罪の結果を自分自身の人生で経験するのです。イエスを愛さなかった世界は、クリスチャンをも愛さないのです。クリスチャンは主に対して毎日罪を犯していることを残念に思うのです。しかし、このように悲しんでいるクリスチャンは、イエスから慰めを受けます。イエスは、彼らに言います。「あなたの罪は赦された。私は完全にあなたの罪を償ったからです。」イエスは、次のように私たちに慰めます。「わたしは、この世に勝った。この世を裁く。あなたのために永遠の場所を備えている。天国は、新しい存在になる。天国には悲しみが全くない。」

5 柔和な者は幸いです。その人は地を相続するからです。柔和な者とは、優しい、穏やか、忍耐強い人です。彼らは、自分のために祝福をゲットすることを心配していません。柔和な者の反対は、怒るのに早く、自制ができず、暴力的で、自分の益を追い求める人です。そのような人は、できるだけこの世の祝福を楽しみたいと思っています。イエスは5節で詩篇37篇の内容を繰り返して教えています。「しかし、貧しい人は地を受け継ごう。また、豊かな繁栄をおのれの喜びとしよう。。。ひとりの正しい者の持つわずかなものは、多くの悪者の豊かさにまさる。主に祝福された者は地を受け継ごう。しかし主にのろわれた者は断ち切られる。人の歩みは主によって確かにされる。主はその人の道を喜ばれる。」(11節, 16節, 23節)。イエスを信じるクリスチャンは、信じない者よりも良い方法で神からの祝福を楽しむことができます。彼らはイエスの恵みの御国のもとに生きているので、豊かな命を享受することができます。クリスチャンは、日毎の食物を神の御手からいただき、感謝で溢れながら、神の栄光のためにすべてのものを用いたいと思います。

6 義に飢え渴いている者は幸いです。その人は満ち足りるからです。クリスチャンは義を慕い求めています。私たちは、神に自分の人生の成績報告を出すときに、汚れのない報告、正しい報告を出したいと思います。義の飢え渴きを満足させるのは、イエス・キリストだけです。イエスだけが、地獄へ行って当然な罪人から、天国に入ることのできる聖徒に、私たちを変えることができます。イエスは、私たちの身代わりとしての死によって、私たちの罪を償いました。イエスの復活のお陰で、私たちは義(正しい)と認められました。イエスは、洗礼によって私たちの罪を洗い流しました。イエスは、私たちをご自身の義で覆います。イエスは、聖餐式によって罪の赦しを私たちに保証します。イエスは、私たちに聖霊を遣わし、感謝で溢れさせて、神に栄光を表す道に導きます。

パート 2: 隣人との関係において幸いです。

八福の最初の4つは神と私たちとの関係について語っていますが、後の4つはこの世と私たちとの関係について語っています。5から7までをもう一度見てみましょう。**7 あわれみ深い者は幸いです。その人はあわれみを受けるからです。****8 心のきよい者は幸いです。その人は神を見るからです。****9 平和をつくる者は幸いです。その人は神の子どもと呼ばれるからです。**神はイエスにあって私たちに恵みと憐れみをくださいました。イエスにある信仰を通して、私たちは神のために実を結ぶ神の子どもとなりました。信者たちは傷ついている人々にあわれみを示そうとします。私たちは誠実さをもって他の人々に語り、自分のためではなく彼らの幸福を求めようとします。神のみことばの真理を犠牲にすることなく、神の平和—イエスを通しての平和—を他の人々に伝えようとし、神がご自身の教会に与えられたその平和を守るのです。そのような信仰の生活を送るとき、神は私たちに恵みと憐れみを与え続けてくださるのです。信仰の目をもって、私たちは神を見て、熱望の目をもって、私たちは天国で神と直接会う日を待ち望むのです。そして、私たちに永遠の平和を与えるために御子を遣わされた神は、恵み深く私たちをご自身の子ども—永遠のいのちの相続人—として招いて下さっているのです。

しかしこの世は、イエスの平和をつくる者たちについて違う態度を持っています。**10 義のために迫害されている者は幸いです。天の御国はその人のものだからです。****11 わたしのために、ののしられたり、迫害されたり、また、ありもしないことで悪口雑言を言われたりするとき、あなたがたは幸いです。****12 喜びなさい。喜びおどきなさい。天においてあなたがたの報いは大きいだから。あなたがたより前に来た預言者たちも、そのように迫害されました。**人間の罪深さと唯一の救い主の偉大さを宣べ伝える時、私たちは迫害に直面します。この世は私たちに邪魔します。虐待します。私たちについて色々悪いことを言います。その迫害にもかかわらず、またその迫害のゆえに、クリスチャンは祝福されるのです。私たちのために苦しんで死なれた救い主のために苦しむことは特権なのです。この罪深い世から受ける迫害は、私たちが神に属する者であることの証明であり、私たちが

神の御名を宣べ伝えていることの証明なのです。この世は神の恵みの宝、私たちへの神の賜物、そして神が約束してくださった永遠の栄光の宝を私たちから取り去ることができませんから、私たちは幸いなのです。神が最後の日に私たちを栄光のからだとともに永遠のいのちへとよみがえらせて下さるとき、神は私たちをいやし、完全に回復させてくださいます。

愛する兄弟姉妹のみなさん。私たちは今日もまた感謝の心に満たされて、私たちの主イエス・キリストの御名によって、神を賛美しましょう。神はもしそうしたいなら、私たちにこの世的な富や栄光を与えることができました。しかし、神はそれ以上のことをしてくださいました。永遠の御子を通して、神は私たちの悲しみを喜びに変え、私たちの死の恐れを希望に変え、私たちの未来を苦しみの未来から栄光の未来に変えてくださいました。主はいつくしみ深い方です。私たちは何と幸いなのでしょう！アーメン。